

## 審議事項

### 資料1 令和2年度の国費補助事業交付申請及びスケジュール(案)

#### 【概要】

・和泉市地域公共交通網形成計画（平成31年3月策定）の計画推進事業(2ヵ年)において、国費の補助申請を行う2年目の事業であり、その内容及びスケジュールについて和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会に諮るものです。

#### 【補助申請事業】

・今年度、南部地域においては、路線バス、路線維持運行バスの乗降調査やアンケート調査、ワークショップを踏まえて、地域における公共交通の取り組みを整理した。  
・令和2年度においては、南部地域の公共交通を確保するための取り組み方策を検討するにあたり、地域住民や交通事業者との連携やワークショップ及び本委員会の運営支援をコンサルタントに委託する。

#### 【スケジュール(案)】

・補助申請事業について、事業者の選定をプロポーザル方式とし、契約の締結を令和2年6月頃(活性化再生法成立日以降)、ワークショップの実施は計3回を予定している。  
・モビリティ・マネジメント※(以下「MM」という。)事業については、地域住民を対象とした「公共交通のメリット又はかしこいクルマの使い方」を掲載した小冊子の作成を予定している。  
・学校を対象とした「バスの乗り方・交通安全教室」を、前回の教室と同様、南海バス(株)、南海バス光明池営業所、光明池自動車教習所、和泉市交通安全教育指導員に協力をお願いし、青葉はつが野小学校の2年生もしくは3年生を対象に実施を予定している。  
・コミュニティバスの小田・和気ルート及び光明池・和泉中央ルートを沿線の地域住民を対象に、「公共交通のメリット又はかしこいクルマの使い方」を掲載した小冊子を町会・自治会を通じて配布を予定している。  
・地域住民MMの選定については、平成30年度と令和元年度の4月から2月末までの乗降人員を比較し、横ばいで推移している2ルートの地域を対象としている。  
・他の2ルート(阪和線沿線ルート、山荘・和泉中央ルート)については、令和3年度に取り組んでいく計画を予定している。

※ モビリティ・マネジメント(Mobility Management、略称MM)とは、

多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ(移動状況)が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取り組みを指す。